

えないようパート雇用も考えながら、全体的に超勤時間の縮減に努力していく。労働安全衛生法の改正に準拠し産業医の健康診断を受けさせていく。

◎福生市職員の旅費に関する条例の改正
四五都市の滋賀県守山市、北海道登別市との3市にて、この1月に新都市連絡協議会職員交流研修協定を締結した。その職員交流研修を実施するための改正で、本年度は守山市へ、来年度は登別市へ、それぞれ1年間、職員派遣を予定している。

◎福生市育英資金支給条例を廃止する条例
21年度の受給者数と廃止する理由は、

受給者は全日制高等学校の28名。今回、国が授業料を補てんするということなので、目的は達したとの結論に至り、廃止する。昭和51年度より平成21年度までの延べ人数は754名。

◎平成21年度福生市一般会計補正予算(第5号)(総務文教委員会所管分)
国の補助金、地域活性化・きめ細かな臨時交付金の事業選定の内訳は、

補助金の目的に合った青梅橋改良事業、緑地保全整備事業、第1・2給食センター立体式消毒設備等改良工事を選定。給与改定と人事異動、育児休業は、それぞれ幾らの減額となるのか。

給料改定や人事異動等に伴う部分が約2千万円、職員手当等は約5千万円、共済組合負担金の600万円などがそれぞれ減額となっている。

◎ほかに庁舎屋上の太陽光パネル、中学校の光熱水費の減額、給食センターの立体式消毒設備等改良工事などに対する質疑や東京都市収益事業組合が廃止となることから市の記録資料として残すよう要望が出されました。



▲市営競技場を視察

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。

陳情

今定例会の各委員会審査され、採択・不採択となった陳情は次のとおりです。

採択

○改正貸金業法の早期完全施行等を求める陳情書(21-12号)

みなし採択

○改正貸金業法の早期完全施行等を求める陳情書(21-2号)

不採択

○東京都に75歳以上の医療費の無料化を求める陳情書

[理由]

東京都において現在の財源状況から、大変困難であると判断し、意に沿いがたい。

○国民健康保険に関する陳情書

[理由]

陳情項目である国民健康保険税の引上げを行わないことについては、了承できないため、意に沿いがたい。

議会の動き

地方分権の進展に伴い、地域発展のために地方議会の果たす役割が従来にも増して大きくなってきました。

このことから、本市議会でも市民に開かれた議会を目指すため、平成18年6月に議会改革検討協議会を設置しました。

その中で、本市議会で改革すべき課題について提案がされ、その課題について検討し、それを報告書にまとめました。

その後も、引き続き、第2次議会改革検討協議会が設置され、検討結果の検証も行ってきました。

その成果として、インターネットによる議会中継や政務調査費の領収書添付の義務付け等を行ってきたところです。

現在は、議会改革の課題の「政策立案機能の向上」の一環として、政策立案プロジェクトチームを設置し、ポイ捨て禁止等の条例化を目指し、研究・検討を進めています。

次回定例会のお知らせ

平成22年第2回定例会は、6月1日(火)から6月18日(金)までを予定しています。

◆本会議(予定) 午前10時開会

6月1日(火)～4日(金)及び6月18日(金)

◆常任委員会(予定) 午前10時開会

6月8日(火)～10日(木)

ぜひ傍聴にお出掛けください。

「声の市議会だより」をご利用ください

市では、市民ボランティア団体と協働で視覚障害者(1・2級)の方に「声の市議会だより」(デージー方式のCD版)をお届けしています。ぜひご利用ください。

○デージー(DAISY)とは

デジタル録音図書国際標準で、聴きたいところをすくんに検索できるなど、情報検索性に優れています。

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

特別委員会活動から

CO2削減特別委員会

◎2月2日にCO2削減特別委員会委員及び委員

特別委員会の参加のもと、茨

城県古河市のゼロエミッ

ションハウス及び資源循

環センターの視察を行いました。最新の省エネ・

創エネ技術の組合せで、

一般住宅のCO2排出量を

削減する優れた環境技

術や建築廃棄物を100

%再資源化する地球環境

保全の取り組みについて

学ぶことができました。

◎次に、福生市の地球温暖化対策に伴うCO2削減に関して報告があり協議しました。

①温室効果ガス排出量の現状と推移について

②分野別二酸化炭素排出量の現状と推移について

③エネルギー使用量の現状と推移について

また、福生スクラム・

マイナス50%協議会の地球温暖化対策全体像の説明後、活発な質疑応答が行われました。

今後、委員会として、

CO2排出量の民生部門の公共業務と家庭部門について、削減項目を明確化していくことになりました。



▲ゼロエミッションハウスを視察(委員外議員を含む)

横田基地対策特別委員会

3月23日に委員会が開催され、横田基地を視察しました。視察には委員

外議員も同行し、自衛隊航空総隊司令部の建物等を車窓から視察後、委員

会を再開し、次の事項を協議しました。

①東京都が実施した航空機騒音調査結果について

19年度との増減で騒音発生回数の1日平均で、

0・6回の増、ピークレベルのパワー平均は変わらず、値が0・7の増で、

ほとんど変化はない状況。

②平成22年度防衛補助事業の実施予定について

3条関係は、第一中学校講堂の防音機能復旧事業等、8条関係は、田園通り及び福生南公園整備事業、9条関係は、牛浜

駅自由通路整備事業、第

③22年度基地関係予算について

各市へは必ず1つの常任委員会(総務文教・市民厚生・建設環境)に所属します。さらに2つの特別委員会(横田基地対策・CO2削減)のうち

1つに所属します。所属外の委員会などは、勉強のため傍聴をして、発言こそできませんが、課題を共有しています。傍聴する議員が多くいるというところはそれだけ研究熱心な、まじめな議員が多いという証左だと考えます。



▲横田基地を視察(委員外議員を含む)

編集後記

3月定例会は、通常の一般質問・条例改正や補正予算に加えて平成22年度の一般会計予算、特別

会計予算を審議する重要な役割を担う定例会です。

●一般会計予算の審査は4日間にわたり、各議員

の異なった視点でその妥当性、経済性、必要性、

適時性などを審議します。

その意味では今はやりの「事業仕分け」そのもの

のと言えると思います。

限られた財源をいかにして効果的に市民サービス

の維持向上に使うか見極める行政へのチェック機

能をいかに発揮する場でもあります。

●福生市議会の特徴の一つに各委員会を傍聴する

議員が多いことが挙げられます。

各議員は必ず1つの常

任委員会(総務文教・市民厚生・建設環境)に所

属します。さらに2つの

特別委員会(横田基地対

策・CO2削減)のうち

1つに所属します。

所属外の委員会などは、

勉強のため傍聴をして、

発言こそできませんが、

課題を共有しています。

傍聴する議員が多くいる

というところはそれだけ研

究熱心な、まじめな議員

が多いという証左だと考

えます。